

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

第17回遊水地保全・再生及び人々の 交流・教育・普及啓発検討合同部会

議事次第

日時：令和元年5月22日（水）15：15～16：45

場所：栃木市藤岡公民館 2F 大会議室2

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

（1）具体的テーマについて

①遊水地保全・再生検討部会

「野鳥の生息環境の保全」について

②人々の交流・教育・普及啓発部会

「普及啓発のための人材育成」について

4. 情報交換

5. その他

6. 閉会

第17回遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会 出席者一覧

No.	団体名	役職	氏名	氏名	備考
1	古河市企画政策部企画課	係長	今泉 秀史		
2	栃木市総合政策部遊水地課	課長	田中 正和	田村 順 青木 聡	合同部会①部会長・事務局
3	小山市総合政策部渡良瀬遊水地ラムサール推進課	課長	今泉 由美子	大谷 亮介 島田 泰広	合同部会②部会長・事務局
4	野木町総合政策部未来開発課	課長	小堀 美津夫	柿沼 和彦	
5	板倉町企画財政課	主任	栗原 加奈子		
6	加須市環境安全部環境政策課	主幹	田村 秀樹	小林 貴夫	
7	一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団	専務理事	宮崎 悟		
8	生井地区自治会連合会				(欠席)
9	渡良瀬遊水地第2調節池周辺地区治水事業促進連絡協議会	会長	米田 弘		
10	渡良瀬遊水地関連地域活性化協議会	会長	落合 良行	平田 政吉	
11	思川右岸生井地区堤防強化対策協議会	会長	川俣 光男		
12	巴波・永野川築堤、堤防改修工事対策協議会				(欠席)
13	野木町川西地区治水事業促進連絡会	会長	岡田 稔		
14	藤岡町巴波川周辺地区治水事業促進連絡協議会	会長	荒川 雅義		
15	小山市渡良瀬遊水地治水推進・ラムサール賢明な活用・周辺整備推進期成同盟会				(欠席)
16	ラムサール湿地ネットわたらせ	代表	楠 通昭		
17	渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会	事務局長	猿山 弘子		
18	わたらせ未来基金	事務局長	内田 孝男	田中 昭男	
19	渡良瀬遊水地野鳥観察会	会長	関口 明		
20	コウノトリ・トキの舞うふるさと おやま をめざす会	会長	浅野 正富		
21	谷中村の遺跡を守る会	会長	高際 澄雄		
22	渡良瀬遊水地ガイドクラブ	代表	大橋 光男		
23	小山市渡良瀬遊水地エコツアーリズムガイド協会	代表	門馬 悠一	川崎 康雄	
24	古河市教育委員会教育総務課	課長	塚原 一夫		
25	栃木市教育委員会教育部教育総務課				(欠席)
26	小山市教育委員会教育研究所	副主幹	森 正彦		
27	野木町教育委員会				(欠席)
28	板倉町教育委員会生涯学習係	係長	星野 一男		
29	加須市教育委員会				(欠席)
30	環境省関東地方環境事務所野生生物課				(欠席)
31	利根川上流河川事務所	副所長	石田 武司	大須賀 勝 前田 耕一 近田 由希子	
32	利根川上流河川事務所藤岡出張所	所長	森田 剛		

第17回合同部会②座席表(栃木市藤岡公民館2階 大会議室2)

R1.5.22

加須市 板倉町 野木町 部会長 栃木市

司会 事務局

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○



国土交通省利根川
上流河川事務所

小山市渡良瀬遊水地エコ
ツーリズムガイド協会

渡良瀬遊水地
ガイドクラブ

古河市
アクリメーション
振興財団
古河市教育委員会
小山市教育委員会
板倉町教育委員会
第2調節池周辺地区
治水事業促進連絡協議会
渡良瀬遊水地関連
地域活性化協議会
思川右岸生井地区
堤防強化対策協議会

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

野木町川西地区
治水事業促進連絡会
藤岡町巴波川周辺地区
治水事業促進連絡協議会
ラムサール湿地ネット
わたらせ
渡良瀬遊水池を
利根川流域住民協
わたらせ未来基金
渡良瀬遊水池
野鳥観察会
コウノトリ・トキの舞
さとおやまをめざす
谷中村の遺跡を守る会

オブザーバー

報道

受付

○ ○ ○

○ ○ ○

出入口

3. 議題 (1) 具体的テーマについて

(1) 第17回合同部会②について

昨年度に引き続き、「野鳥の生息環境の保全(2-3)」と「普及啓発のための人材育成(3-4)」について協議を進める。また、新たな取組として、「遊水地のガイドブック等(英語版を含む)(3-2)」を加え、議論する。

①作成パンフレットの完成・・・(2-3、3-4)

前回(第16回)の合同部会で出たパンフレット(案)への意見を反映させた最終版が完成。平成30年度の成果品として、7月の保全利活用協議会で報告し、印刷・発行。
⇒完成版については、別添資料をご覧ください。

②シールラリーの検討・実施・・・(3-4)

①のパンフレットで紹介されているイベントに多くの人に参加していただく仕掛けとして、シールラリーを実施する。今後、合同部会で実施方法や対象イベント等を議論し、令和2年1月より事業を開始予定。
⇒詳細については、事業概要(案)をご覧ください。

③インバウンドに対応した英語版案内ツールの作成・・・(3-2)

2020年の東京オリンピックを見据え、インバウンドに対応するための英語版案内ツール(看板への英語表記)の作成を検討中。記載内容等について合同部会でも意見を伺い、作成する。

④環境学習フィールド3観察パンフレットの作成・・・(3-2、3-4)

湿地の保全・再生が進められている環境学習フィールド3を対象エリアとした自然観察パンフレットを作成中。記載内容等について、合同部会でも意見を伺いパンフレットを完成させる。
⇒詳細については、別添資料をご覧ください。

(2) 第7回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会について

- 日時 令和元年7月24日(水) 15:00~16:00(予定)
- 場所 道の駅思川 小山評定館研修室(小山市下国府塚25-1)
- 付議事案
平成30年度事業報告及び収入・支出決算報告、令和元年度事業計画(案)及び収入・支出予算(案)、役員を選任 他

令和元年度 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 活動スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
渡良瀬遊水地保全・利活用協議会				24日									8/2協議会発足日 8月第1水曜日
賢明な利活用及び地域振興検討合同部会		22日 13:30				25日 13:30		27日 13:30		22日 13:30		4日 13:30	原則第4水曜日
遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会		22日 15:15				25日 15:15		27日 15:15		22日 15:15		4日 15:15	
幹事会		8日 14:00				11日 14:00		13日 14:00		8日 14:00	19日 14:00		水曜日 合同部会2週前
事務局打合せ	24日 14:00				28日 14:00		30日 14:00		18日 14:00		5日 14:00		水曜日 幹事会2週前

《参考》平成30年度 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
渡良瀬遊水地保全・利活用協議会					1日								8/2協議会発足日 8月第1水曜日
賢明な利活用及び地域振興検討合同部会		23日 13:30		25日 13:30		26日 13:30		28日 13:30		23日 13:30		6日 13:30	原則第4水曜日
遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会		23日 15:30		25日 15:30		26日 15:30		28日 15:30		23日 15:30		6日 15:30	
幹事会		9日 14:00	19日臨時 14:00	11日 14:00		12日 14:00		14日 14:00		9日 14:00	20日 14:00		水曜日 合同部会2週前
事務局打合せ	25日 14:00		27日 14:00		29日 14:00		31日 14:00		19日 14:00		6日 14:00		水曜日 幹事会2週前

「2. 遊水地保全・再生」及び「3. 人々の交流・教育・普及啓発」合同部会② 全体タイムスケジュール

項目	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年(中期) (オリンピックまで 2020)	R33～長期	摘要
2. 湿地環境の保全・再生							
1. 外来種対策							一部実施中、住民への呼びかけ
2. 希少動植物保全							一部実施中、拡大には、 保全区域の設定
3. 野鳥の生育環境の保全							現状の把握と、対策について
4. イノシシ等の対応							看板設置、その他対策
5. ゴミ対策	クリーン作戦実施中						状況を見ながら対策検討
6. 治水(河道整備、避難所、掘削等)							湿地再生事業 治水関連の情報収集
3. 人々の交流・教育・普及啓発							
1. 利活用の情報の一元化	システム検討	運用					渡良瀬情報ネットワーク
2. 遊水地のガイドブック等(英語版含む)							英語版パンフレット等について オリンピックまでに
3. 情報提供の場(ビジターセンター)							体験学習ハウス等、資料収集
4. 普及啓発のための人材育成							ボランティアガイドの養成、湿地の保全する人の育成等
5. 教育・普及啓発のための教材作り	教材作り	学習					治水・利水・歴史・環境

渡良瀬遊水地関連イベントシールラリー（愛称：わたらせシールラリー）
～イベントに参加し、めざせ「渡良瀬遊水地マスター」！～
事業概要（案）

1. 目的

合同部会②において作成したパンフレット「ラムサール条約湿地 渡良瀬遊水地 湿地の保全と賢明な利活用を目指して」内に掲載されている「渡良瀬遊水地関連イベント」へより多くの方の参加を促し、渡良瀬遊水地の魅力を伝えるとともに、渡良瀬遊水地の普及・啓発に資する新たな人材の発掘・育成につながることを目的として実施する。

2. 概要

「渡良瀬遊水地関連イベント」内のシールラリー対象イベントへ参加した方に対し、シールを配布する。シールは7種類（4市2町のゆるキャラ各1種類（計6種類）及び渡良瀬遊水地ロゴマーク）とし、4市2町主催のイベントでは各市町のゆるキャラシールを、また、関連団体主催のイベントでは渡良瀬遊水地ロゴマークシールをそれぞれ配布し、渡良瀬遊水地ロゴマーク1枚以上を含む合計7枚のシールを集めた方を「渡良瀬遊水地マスター」と認定。渡良瀬遊水地マスターの認定証と記念カードを贈呈する。

尚、渡良瀬遊水地マスターの認定については、7枚のシールを集めた台紙をハガキに添付し、住所・氏名等の必要事項を記入の上、事務局へ送付することにより行う。

また、シールラリーに使用する台紙は以下の施設にて配布を予定。

【配布施設】

- ・ 4市2町の担当課及び関連施設（道の駅、観光協会等）
- ・ 利根川上流河川事務所
- ・ 環境省関東地方環境事務所
- ・ 一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団
- ・ 他 対象事業実施団体
- ・ 対象事業開催場所

3. 期間

令和2年1月～令和2年12月

※この期間中に開催されるイベントが対象。

4. スケジュール

期日	行事名	内容
令和元年 7月24日	第7回協議会	①取り組みの報告 ②決算報告 ③事業計画の承認 （シールラリー実施方針含む） ④予算（案）の承認 ⑤シールラリー実施のプレスリリース （パンフレット、チラシ（案）の提示）
8月末	各市町負担金徴収	第7回協議会終了後、負担金の請求書を各市町に送付。振り込み期限8月末。
8月末～ 12月末	事務局会議×3回 幹事会×2回 合同部会×2回	対象事業の選定 チラシの作成 関係各所への周知・広報
令和2年 1月～12月	わたらせ シールラリー	事業実施
令和3年	渡良瀬遊水地マスター認定式	シール7枚集めた方に、認定証と記念カードを贈呈

渡良瀬遊水地関連イベントシールラリー（わたらせシールラリー） ～イベントに参加し、めざせ「渡良瀬遊水地マスター」！～

事業内容

（PR チラシも兼ねるため、写真等も使用しシンプルにまとめる）

実施期間：令和2年1月～令和2年12月

対象イベント：裏面の「対象イベント一覧」をご確認ください。

<もらえるシール>

○渡良瀬遊水地を構成する4市2町（古河市、
栃木市、小山市、野木町、板倉町、加須市）主
催のイベント⇒各市町のゆるキャラシール

○上記以外の渡良瀬遊水地関連団体が主催のイ
ベント⇒渡良瀬遊水地ロゴマークシール

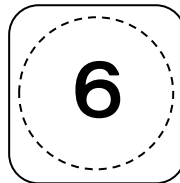
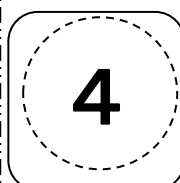
記念カード
（見本）

応募方法・応募先

わたらせシールラリー シール台紙

渡良瀬遊水地ロゴマーク1枚以上を含む合計7枚のシール
を集めて、「渡良瀬遊水地マスター」をめざそう！

スタート



ゴール

氏名 _____

年齢 _____ 歳

住所 _____

連絡先 _____

自然環境の保全・再生に関するイベント

スポーツに関するイベント

複合型イベント

学習会・観察会など

ガイド・ツアーなど

その他のイベント

各イベントに関する問合せ先

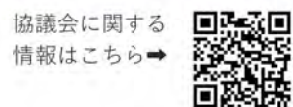
のりづけ

※ハガキからはがれないように、こちらの面にしっかりとのりづけし、ご応募ください。

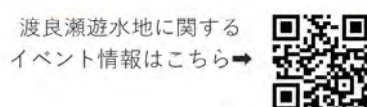
渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の紹介

渡良瀬遊水地は2012年7月に国際的に重要な湿地であることから、ラムサール条約湿地に登録されました。

ラムサール条約の目的に掲げられた「**湿地の保全**」と「**湿地の賢明な利用**」に向けて、遊水地の歴史を踏まえつつ、「**遊水地の治水機能の向上**」、「**積極的な自然環境の保全再生**」、「**様々な利活用の促進**」、「**地域振興**」を図るため、関係機関や周辺住民・利用者等が十分に対話を行うことを目的に設立された協議会です。



協議会に関する情報はこちら→



渡良瀬遊水地に関するイベント情報はこちら→

発行者：渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
事務局：国土交通省利根川上流河川事務所 調査課
〒349-1198 埼玉県久喜市栗橋北2-19-1
Tel.0480-52-3958
発行年月：2019年7月

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 構成団体の紹介

協議会は渡良瀬遊水地がある自治体（4市2町）、自治会等地域の代表、渡良瀬遊水地に関係する各種団体、関係官庁で構成されています。

ラムサール湿地ネットわたらせ ① Tel.0285-25-6577 (事務局 浅野正富法律事務所内)
HP: <https://watarase.link/>

《活動内容》遊水地の賢明な利用のための保全・普及啓発活動

2006年に設立した「渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会」が条約湿地登録の1年後の2013年に現在の名称に改称しました。登録後の遊水地の賢明な利用の実現のため、保全・普及啓発等様々な活動を行っています。

渡良瀬遊水池を守る 利根川流域住民協議会 ② Tel.0282-23-1078 (猿山方)
HP: <http://watarase-kyougikai.org/>

《活動内容》生きもの調査、観察会、貴重種保護活動、国交省との話し合い、講演会主催など

1990年(平成2年)に発足しました。市民サイドから渡良瀬遊水地の望ましいあり方を追求してきました。遊水地周辺自治体を含めた、自然と歴史の野外博物館構想「エコミュージアムプラン」の発信も続けています。

わたらせ未来基金 ③ Tel.090-6938-5490 (事務局 内田孝男)
HP: <https://watarase-mirai.jimdo.com/>

《活動内容》渡良瀬遊水地環境保全活動、足尾山地緑化推進活動

ラムサール条約登録地、渡良瀬湿地帯の環境保全を行ないつつ、この地をエコミュージアムとして次世代に繋ぎ、様々な面で利用していく事、並びに渡良瀬川上流足尾山地が緑を取り戻し、その恩恵を下流域に分け与えてくれるよう、緑化推進を図る事を目的としています。

年間通して渡良瀬遊水地や足尾で催しを行なっていますので、是非ご参加、またご入会していただき活動の意義をご理解いただくとともに、将来を創っていきませんか。活動の一端で、渡良瀬のヨシ利用のため作成したたい肥「ヨシ腐基土」も販売しています。花や野菜にお勧めです。



撮影 写真家 堀内 洋助氏

ラムサール条約湿地 渡良瀬遊水地

渡良瀬遊水地ロゴマーク

湿地の保全と賢明な利活用を目指して



協議会 構成団体の紹介
コウノトリ・
渡良瀬遊水地関連イベント情報

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会



撮影 写真家 堀内 洋助氏

谷中村の遺跡を守る会 ④ Tel.0282-62-3006
HP: <http://www.cc9.ne.jp/~kane-gon/>

《活動内容》谷中村遺跡の保全と谷中村縁故者からの聞き取り

谷中村 村民および子孫の苦難を忘れないために、谷中村遺跡の草取りを行い、また歴史を調べ、縁故者からの聞き取り、および関連地のフィールドワークを行っています。

渡良瀬遊水地ガイドクラブ ⑤ Tel.0282-62-1301(渡良瀬遊水地ハートランド城)
HP: <https://www.city.tochigi.lg.jp/soshiki/6/1369.html>

《活動内容》渡良瀬遊水地のガイド

2015年3月発足。ハートの谷中湖周辺で、遊水地の魅力をわかりやすく丁寧にお伝えすることをモットーにガイド活動しています。黄緑色のベストが目印です。お気軽にお声掛けください。

- ◆活動日：閉園日を除く毎日
- ◆活動時間：午前10時～午後2時
- ◆料金：無料
- ◆団体は要予約。

小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会 ⑥ Tel.0285-22-9354 (事務局 小山市渡良瀬遊水地ラムサール推進課)

《活動内容》渡良瀬遊水地と小山市下生井地区における観光、及び、自然観察ガイド

おやま市民大学で2年間にわたり、渡良瀬遊水地の生立ちや、自然環境を学んだ精鋭ガイドが遊水地の良さをあますところなくガイドします。野鳥や植物観察、環境学習のお手伝いをします。下生井の文化・歴史遺産のご案内もする他、環境保全のボランティア活動も行います。

一般社団法人 栃木市熱気球クラブ ⑦ Tel.090-3245-4388(神島)

《活動内容》熱気球による係留の搭乗体験

当クラブのHPがあります。| 栃木市熱気球クラブ | で検索して下さい。詳しい情報が明記されています！※係留とは、船舶がロープで繋がれている状態と同様熱気球の籠(ゴンドラ)が四方をロープで繋がれていて10m～15mの高さまで上がったたり下がったりして、搭乗して頂く体験です。



渡良瀬遊水地

栃木・茨城・群馬・埼玉の4県4市2町にまたがり、面積3,300ha、本州以南最大の湿地で、治水の要として首都圏の生命・財産を守っています。2012年7月には、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(ラムサール条約)」に登録された、国際的に重要な湿地です。絶滅危惧種のチュウヒをはじめ、貴重な動植物が多数生息する「自然の宝庫」です。

コウノトリ

かつては日本各地で大空を舞っていましたが、圃場整備や河川改修による生息地(湿地)の減少と、農業の使用などによる生息環境の悪化が原因で、一度は日本から姿を消しました。絶滅前に最後の生息地となった兵庫県豊岡市では、1965年から人工飼育と野外の生息環境保全が取り組みられ、2005年からは放鳥が行われています。その後、千葉県野田市や福井県越前市でもコウノトリの野生復帰に向けた取組が始まり、現在は約140羽が野外に生息します。渡良瀬遊水地では次に飛来が確認され、特に2018年には長期間滞在して巣作りをするなど、遊水地を拠点にしたエリアへの定住に期待が高まっています。

肉食性で湿地生態系の頂点に位置するコウノトリが生息するという事は、渡良瀬遊水地には生き物がたくさんいる自然豊かな場所であるという証です。渡良瀬遊水地には希少種を含めて数多くの動植物が生息していますが、それらと同様にコウノトリも希少な鳥です。

渡良瀬遊水地にはコウノトリ以外にも多様な動植物が生息・生育する豊かな自然環境があります。自然観察にはこれらの資料も参考にしてください。



遊水地周辺の水田で採食するコウノトリ
コウノトリってどんな鳥？
【体長】約100-110cm(翼を広げると約200-220cm)
【体重】4-5kg
【分布】ロシア極東地方や中国東北部などが主な繁殖地。
中国の長江中流域、韓国、台湾、日本で越冬。
【生息環境】主に湿地
〔湿原、湖沼、河川、水田、遊水地など〕
【行動範囲】巣の場所を中心に概ね半径2km
【食性】肉食性で、ドジョウ・フナなど魚類をはじめ、ヘビ、カエル、バッタなど多様な動物を採食。飼育下では1日約500gを食べます。



渡良瀬遊水地に飛来したコウノトリ

コウノトリの生息環境を保全・再生する取組が始まっています。渡良瀬遊水地周辺の水田で採食できるように、ふゆみずたんぼやなつみずたんぼに取組む農家が増えています。エリアへの定住促進のため、遊水地にはデコイ(鳥が仲間の姿を見つけて集まる習性を利用した模型)が設置されました。巣をつくるための人工巣塔も設置されています。



デコイに近づくとコウノトリ(一番左が本物です) 人工巣塔へ巣材を運ぶコウノトリ【撮影：内田孝男氏】

わ 分かち合う、私たちの良い環境
利用者同士のトラブルを防止し、地域の環境を分かち合ひましょう。ストロボを用いた写真撮影はしない、ゴミは持ち帰る、犬の散歩はリードをつけて、などルールを尊重して、気持ちよく利用しましょう。

た 食べ物をあげないで
野生生物へのエサやりは、食べ物を獲得する能力を低下させたり、感染症を誘発したりすることがあります。人工的なエサに慣れると人を襲ったり、作物を荒らしたりする被害につながる場合もあります。

ら 来訪時には細心の注意を
農地(田や畑、あぜ道)などの私有地、河川管理施設などの立入禁止区域には無断で入らないでください。田畑では、農作物の毀損や病原菌媒介の恐れがあります。立入制限は植生保全のほか、自身の安全を守る意味もあります。自動車は、駐車位置に注意しましょう。

せ 接近しすぎない
神経質で臆病な野生生物は、危険を感じると別の場所へ移動してしまいます。抱卵期や子育て期には、卵やヒナを放棄してしまうこともあります。稀に好奇心旺盛で近づいてくる個体もありますが、驚かさないう急な動きはせず、ゆっくりと退避するか相手が離れていくのを待ちましょう。(コウノトリ生息地の先進地域では、150m以上離れて観察することが推奨されています。)

・ 渡良瀬遊水地第2調節池周辺地区治水事業促進連絡協議会	思川、巴波川そして渡良瀬遊水地第2調節池に囲まれた自然豊かな田園風景の素晴らしい地域に住む人々の生命と財産を守るため、治水事業の促進に取り組んでいる団体です。
・ 思川右岸生井地区堤防強化対策協議会	
・ 巴波・永野川築堤、堤防改修工事対策協議会	
・ 野木町川西地区治水事業促進連絡会	
・ 藤岡町巴波川周辺地区治水事業促進連絡協議会	

・ 小山市渡良瀬遊水地治水推進・ラムサール賢明な活用・周辺整備推進期成同盟会
・ 渡良瀬遊水地スポーツ利用者等連絡協議会
・ 特定非営利活動法人 スカイダイブ藤岡
・ 渡良瀬遊水地利用組合連合会



・ 古河市行政自治会	・ 藤岡土地改良区
・ 部屋地区自治会連合会(栃木市)	・ 思川西部土地改良区
・ 藤岡地区自治会長会(栃木市)	・ 古河市教育委員会
・ 赤麻地区自治会連合会(栃木市)	・ 栃木市教育委員会
・ 生井地区自治会連合会(小山)	・ 小山市教育委員会
・ 野木区(野木町)	・ 野木町教育委員会
・ 板倉町行政区長会	・ 板倉町教育委員会
・ 加須市自治協力団体連絡会北川辺支部	・ 加須市教育委員会

・ 一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 ⑨ Tel.0282-62-1161

・ 古河市 ⑩ Tel.0280-92-3111	・ 環境省関東地方環境事務所野生生物課
・ 栃木市 ⑪ Tel.0282-62-0919	・ 国土交通省利根川上流河川事務所
・ 小山市 ⑫ Tel.0285-22-9354	
・ 野木町 ⑬ Tel.0280-57-4260	
・ 板倉町 ⑭ Tel.0276-82-1111	
・ 加須市 ⑮ Tel.0280-61-1205	

※団体の○番号は裏面のイベント情報の問合せの番号と対応しています。

自然環境の保全・再生に関するイベント

時期	名称	内容	場所	問合せ
2,4,7,10月	放射性物質検査	フナの検査、検体採捕	※1	⑧
2,5,7,12月	ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦	ヤナギやセイタカアワダチソウの抜き取り活動	⑫	⑫
3月	ヨシ焼き	貴重な湿地環境を守るために、遊水地内全域のヨシを焼く	※3	※2
4月	クリーン作戦	ゴミ拾い清掃活動	※2	※2
4月下旬~5月上旬	ワカサギ卵放流	卵の植付	※1	⑧
4月中旬~	湿地の保全活動	ヤナギ、セイタカアワダチソウ除去作業を実施	⑪	③
5月	希少植物保全活動	外来植物除去、抜き取り	⑥	⑪
5月~6月	おさかなワイワイ大作戦	第2調節池の池に生息する外来魚を、地引網にて捕まえ、外来魚と在来魚に分けたり、捕まえた魚等の観察をする	⑫	⑫
5月下旬, 7月上旬, 10月中旬	のぎ水辺の楽校 外来植物等除去活動	セイタカアワダチソウ等の外来種の除去活動	⑮	⑬
7月下旬, 8月下旬	外来生物捕獲作戦	アメリカザリガニ、オオクチバス除去	⑪⑫	③
10月中旬	外来植物除去作戦	セイタカアワダチソウ、オオバクサ等除去(企業によるCSR活動)	⑫	③
11月,12月	フナ放流	放流	※1	⑧
12月上旬	湿地の保全活動	環境学習フィールドの水辺環境保全と観察路整備	⑨⑩	②
12月上旬	ヨシ原保全活動	ヨシ刈りとヨシの利用	⑥	③

スポーツに関するイベント

時期	名称	内容	場所	問合せ
2月上旬	バレンタイン係留活動	大好きな人と気球に体験搭乗	⑥	⑦
3月下旬	古河まくらがの里・花桃ウオーク	古河市内や渡良瀬遊水地内を巡るウオーキングイベント	※3	⑩
4,5,6,7月	渡良瀬ハルーンレース 第1戦ホンダグランプリ	競技があり、その間係留活動	⑥	⑦
4月上旬	ウォーク・ザ・わたらせ	ウォーキング	※5	③
4月中旬	おやま思川ざくらマラソン大会	渡良瀬遊水地や思川桜満開の中を走る春満喫コース	※8	⑫
4月下旬	渡良瀬遊水地ウォーキング大会	渡良瀬遊水地の自然を満喫しながらのウォーキング	※3	⑪
5月上旬	ウォータースポーツ教室	カヌー・ヨット・ボートの体験	※1	⑪
5月上旬	渡良瀬遊水地ボタリング	遊水地内の名所を自転車で巡る	※4	⑭
6月上旬, 10月上旬	遊馬の時間・夏秋	大型馬のデモンストレーション/馬とかけっこ/ポニーとのふれあい体験	⑥	⑪
8月中旬	Eポートレース 渡良瀬大会	10人乗り手こぎボート(Eポート)を利用したレースを実施	⑥	※2
年間	フリーフライト	年間を通して土、日に天候条件が良い時に行う	※3	⑦

複合型イベント

時期	名称	内容	場所	問合せ
3月中旬	三県境フェア	三県境ガイドツアー、特産品販売等	⑦	⑮
4月上旬	渡良瀬ハルーンレース・藤岡さくらまつり	熱気球の大会と桜の共演が楽しめるイベント	⑥	⑪
4月中旬	生井桜まつり	思川桜を眺めながらステージイベントや飲食物の販売等、地域の魅力が詰まったまつりを開催	⑮	⑫
5月	煉瓦窯感謝祭	各種ワークショップ等の実施	⑩	⑬
7月	渡良瀬遊水地フェスティバル	自転車競技と同時開催のイベント	⑤	⑪
7月下旬	煉瓦窯夏フェスタ	各種ワークショップ等の実施	⑮	⑬
7月下旬	ひまわりフェスティバル	各種ステージイベント等の実施	⑭	⑬
10月	れんがまつり	各種ワークショップ等の実施、シンポジウムの開催	⑮	⑬
10月上旬	渡良瀬遊水地まつり in KAZO	周辺市町の特産品販売・各種体験学習・遊水地ツアー等	⑥	⑮
12月	煉瓦窯冬フェスタ	各種ワークショップ等の実施、イルミネーションの点灯式	⑮	⑬

※1 谷中湖(渡良瀬貯水池)及びその周辺
 ※2 湖~沼に問い合わせいただき、詳細を確認してください
 ※3 渡良瀬遊水地全域
 ※4 渡良瀬遊水地内(状況により会場は変わります)
 ※5 渡良瀬遊水地、渡良瀬川流域
 ※6 第1調節池及び第3調節池
 ※7 群馬の水郷(群馬県邑楽郡板倉町大字岩田2941-3)
 ※8 小山総合公園発着 第2調節池 谷中湖

渡良瀬遊水地関連イベント情報

渡良瀬遊水地の最新イベント情報は
こちらをチェック！



渡良瀬遊水地
アクリメーション振興財団
「イベント情報」



渡良瀬遊水地周辺マップ(広域)



注意

I.「主催・問合せ」の番号は表面の団体紹介と対応しています。連絡先は表面をご参照ください。

II.この一覧には例年のスケジュールを掲載しているため、実施されない場合もあります。ご了承ください。

III.★2018年度にコウノトリがよく観察されたポイントです(当協議会調べ)。

アクセス方法

○車の場合
 ・東北自動車道 佐野藤岡IC、館林ICより20分

○鉄道の場合
 ・東武日光線 板倉東洋大前駅、藤岡駅よりレンタサイクル
 ・JR宇都宮線 古河駅よりレンタサイクル
 野木駅、間々田駅よりシェアサイクル
 ・東北新幹線 小山駅よりシェアサイクル
 ※藤岡駅より、栃木市ふれあいバス 藤岡線利用可
 ※間々田駅、小山駅より、小山市渡良瀬ライン利用可

★ コウノトリ観察スポット

- ① 藤岡公民館
- ② 渡良瀬遊水地ハートランド城
- ③ 藤岡渡良瀬運動公園
- ④ 第1調節池屋敷林
- ⑤ 子供広場ゾーン
- ⑥ 谷中村史跡保全ゾーン
- ⑦ 道の駅きたかわべ
- ⑧ 下宮橋グラウンド
- ⑨ 環境学習フィールド4
- ⑩ 環境学習フィールド2
- ⑪ 環境学習フィールド1
- ⑫ 環境学習フィールド3
- ⑬ 生井桜つつみ
- ⑭ 野木第二中学校南側のぎ水辺の楽校
- ⑮ 野木ホフマン館
- ⑯ 古河ゴルフリンクス
- ⑰ コウノトリ人工巣塔

○バスの場合
 ・栃木市ふれあいバス 藤岡線 道の駅きたかわべ(平日のみ) 谷中湖(土・日・休日のみ)
 部屋線 部屋南部桜つつみ公園
 ・小山市渡良瀬ライン なまいふるさと公園、コウノトリ渡良瀬遊水地駅、ラムサール渡良瀬遊水地駅
 ※部屋南部桜つつみ公園(ラムサール渡良瀬遊水地駅)で乗り継ぎ可(小山市・栃木市広域公営バス)

学習会・観察会など

時期	名称	内容	場所	問合せ
1月1日	初日の出探鳥会	初日の出を迎えながらのチュウビの飛び立ち観察	※4	①
1月	チュウビのねぐら入り観察会	広大なヨシ原と湿地環境を好むチュウビ(タカ科、国絶滅危惧ⅠB類)の観察	※4	⑫
1,8月	渡良瀬遊水地野鳥観察会	冬鳥の観察、ツバメのねぐら入り	※4	⑬
1~11月	渡良瀬遊水地探鳥会 1,4,8,11月	野鳥観察	※1	③
2月上旬	渡良瀬遊水地探鳥ハイキング	野鳥観察	※1	⑮
4,5,9月	渡良瀬遊水地植物観察会	渡良瀬遊水地の植物の観察会	※4	⑬
4月上旬~11月中旬	植物観察会	四季を通じた貴重植物の生育状況の観察	⑥	⑨
5,9,10,12月	ラムサール講座 5月(植物・昆虫) 9月(植物) 10月(昆虫) 12月(野鳥)	ガイド講師と一緒に渡良瀬遊水地に生息する、貴重な植物や昆虫、野鳥を学び、観察する	⑫	⑫
5月下旬~2月中旬	野鳥観察会	谷中湖周辺で四季を通じた野鳥の観察	※1	⑨
5月上旬	湿地のグリーンウェイブ	自然観察会(野鳥、植物、昆虫)	⑥	③
6月上旬	観察会と貴重種の保護活動	植物、昆虫、野鳥の観察と貴重種を保全する環境づくり	⑩	②
7月下旬	夏休み宿題サポート教室	子ども達の夏休みの自由研究のお助け体験型イベント	⑤	⑨
8月	ツバメのねぐら入り観察会	繁殖を終えて南へ渡る前の約10万羽のツバメが渡良瀬遊水地に集結する様子を観察(様々な団体で実施)	※4	⑪⑫
10~4月	渡良瀬子ども自然塾	小学生を対象に遊水地の季節ごとの自然を体験する塾	⑫	①
10月上旬	秋の観察会	植物、昆虫、野鳥の観察	⑨⑩	②
12月中旬	野鳥観察会	マガモ、カイツブリ、カワウ、ハヤブサなどを観察	※4	⑭

ガイド・ツアーなど

時期	名称	内容	場所	問合せ
3月	ヨシ焼き観察会	バスで向かうヨシ焼き観察	⑮	①
3月	ヨシ焼き見学バスツアー	ヨシ焼きの見学	⑮	⑬
7,8月	渡良瀬遊水地ハートランドぐるり旅	ボランティアガイド付きのミニツアー	②	⑪
10~11月	バスツアー	谷中村事件関連地視察	⑥	④
通年	ボランティアガイド ※谷中湖の閉園日除く	谷中湖周辺の案内	※1	⑤
通年	ボランティアガイド	渡良瀬遊水地の案内(第2調節池・生井地区)	⑮	⑥
通年	渡良瀬遊水地エコ・アグリツアー	野鳥・サイクリング・フォト等、渡良瀬遊水地の魅力と農業やその他の観光資源と絡めたツアーの実施	※3	⑫

その他のイベント

時期	名称	内容	場所	問合せ
1月下旬	生物多様性推進活動	屋敷林保全の防火帯作り	④	③
3月上旬	ヨシ焼き前クリーン作戦	ヨシ焼き前のゴミ拾い	※6	③
3月	ヨシ焼きおもてなしブース	ヨシ焼き当日、地元住民によるおもてなしブースを設置	⑮	⑫
5~6月 9~10月	群馬の水郷 揚船谷田川めぐり ※期間中の土曜、日曜、祝日	揚船で谷田川(2kmコース)を約60分かけて周遊	※7	⑭
6,7月	谷中村史跡保全ゾーン草取り ※6月下旬の日曜/7月下旬の日曜	草取り	⑥	④
6月上旬	ホテル祭り	ホテルの鑑賞会	⑮	⑬
7月中旬	講演会	ラムサール湿地とエコミュージアム	①	②
8月 第1土曜日	古河花火大会	3尺玉を含む打上数約2万発の花火大会	⑰	⑩
11月	渡良瀬遊水地フォトコンテスト	渡良瀬遊水地を対象としたフォトコンテストを実施	※2	※2
12~1月	縁故者講話会	谷中村事件関連のエピソードを聞く	④	④
12月上旬	第2調節池フォトコンテスト	渡良瀬遊水地第2調節池の小山市域を対象としたフォトコンテストを実施	⑮	⑫

環境学習フィールド(3)は平成26年9月に、拡張部-1は平成28年12月に完成しました。川からのながれこみはなく、地下水や雨水で池の水がたもたれています。池の周りには、ヨシなどの湿地に生える植物やオギなどの草地に生える植物などが一面をおおい、さまざまな生きものが生活しています。

環境学習フィールド(3)と拡張部-1のいさまもの



どんな場所に、どんないきものがいるか、探してみよう!



ラムサール条約登録湿地「渡良瀬遊水地」

ラムサール条約は、正式には「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」という名前です。1971年にイランの町ラムサールで結ばれたので、ラムサール条約とよばれています。日本は1980年に加入しています。ラムサール条約に加入する国は、自分の国の重要な湿地を登録して、保全や利用を考えていきます。渡良瀬遊水地は、2012年7月3日に登録されました。渡良瀬遊水地は、広大なヨシ原が特徴的で、ヨシ焼きやたまった土の掘りとりなどをおこなって、たもたれてきています。

※遊水地：遊水地は大雨などで川の水が急が増えたとき、その一部をためて下流に流れる量を少なくする役わりをもっています。渡良瀬遊水地は、面積33km²の遊水地で、昭和37年度より運用が開始されています。

※ヨシ焼き：渡良瀬遊水地では3月下旬におこなわれ、地域にとっても毎年の風物詩となっています。春にヨシを焼くことで、春に多くの植物がめばえます。また、木が生えるのを防ぎ、湿地の状態を保つことにも役立っています。



貴重な生き物や面白い生き物がいっぱい!

◆渡良瀬遊水地のコウノトリ

コウノトリは、かつては日本で普通に見られた鳥でしたが、明治時代以降の乱獲と農薬の影響などで1970年代に絶滅しました。

渡良瀬遊水地では、千葉県野田市で放された「ひかる」(おす)、「きずな」(おす)が飛来し、環境学習フィールド(3)や拡張部-1で、えさをとっているところが見られました。コウノトリはドジョウなど魚やカエル、ザリガニ等をえさにしています。



コウノトリと似ている鳥たち

渡良瀬遊水地では、コウノトリのほかに、ダイサギやアオサギといった、コウノトリに似た形の鳥が見られます。この中で、コウノトリが一番大きく、はねの色がはっきりとした白と黒、くちばしが黒、足が赤という特徴があるので、ほかの鳥たちと見分けることができます。

植物「タコノアシ」の名前の由来

タコノアシは、高さ50～90cmの多年草で、秋になると全体が赤くなり、たくさん小さい花が吸盤のように並び、蛸の足のように見えることから、名づけられました。

※多年草：何年かにわたって生存する植物のこと。



テントウムシいろいろ 環境学習フィールド(3)と拡張部-1には、さまざまなテントウムシが見られます。星の数、大きさに注目して探してみましょう。



“ワタラセ”を名に持つ生きもの

渡良瀬遊水地では昆虫のワタラセハンミョウモドキと植物のワタラセツリフネソウが見られます。名まえにワタラセとつきますが、渡良瀬遊水地でもなかなか出会えない生きものです。



いきものさがしのポイント



ハイロチュウヒ
チュウヒより白っぽく、数は少ない。冬鳥。



チュウヒ
ネズミなどの小動物をつかまえて食べる。冬鳥。



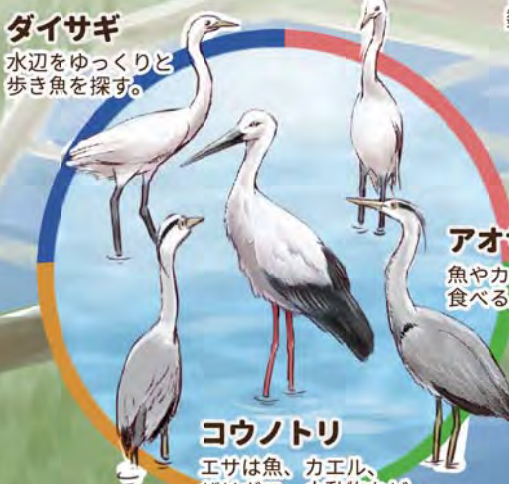
ツバメ
夏から秋にかけてねぐらに集まる。夏鳥。



オオヨシキリ
「ギョギョギョ」と大きな声で鳴く。夏鳥。



イタチ
体長は20～30cm。
イノシシ
人に突進してくることがあるから注意。



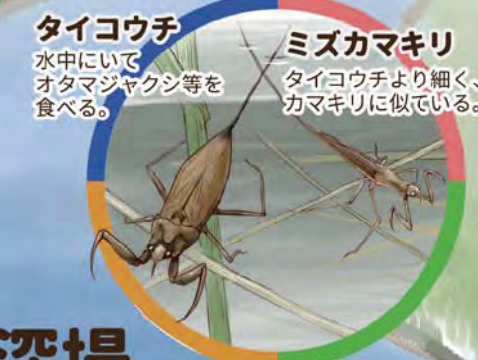
ダイサギ
水辺をゆっくりと歩き魚を探す。
アオサギ
魚やカエルなどを食べる。
コウノトリ
エサは魚、カエル、ザリガニ、小動物など。長距離移動するため見られないことも。



コチドリ
水辺をいそがしそうに動き回る。夏鳥。



カルガモ
水面に浮かんで植物のたねなどを食べる。冬に多くなる。



タイコウチ
水中にいてオタマジャクシ等を食べる。
ミズカマキリ
タイコウチより細く、カマキリに似ている。



ワタラセツリフネソウ
高さ50cm～100cm。9～10月に赤紫色の花が咲く。



チョウジソウ
高さ40～80cm。4～6月頃に花が咲く。

環境学習フィールド(3) 拡張部 -1

深場

浅瀬

ヨシ・オギの草原



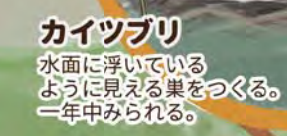
ワタラセハンミョウモドキ
体長約8mm。しめった土の上を歩いているが、見られる場所はかぎられる。



アキアカネ
夏は涼しい高山へ移動し、秋に山をおりる。



トゲヒシバツタ
体長約18mm。目立たないが湿地に多い。



カイツブリ
水面に浮いているように見える巣をつくる。一年中みられる。



キンクロハジロ
水中にもぐって貝、エビ、昆虫などを食べる。冬鳥。



メダカ
尻びれが四角形になっているのが特徴。
モツゴ
別名クチボソ



アジイトトンボ
体長約30mm。池のまわりの草にとまっている。



ヨシ
高さ2～4m。穂の色はむらさき色。



オギ
高さ2～4m。穂の色は白色。



ナナホシテントウ
背中に黒い斑点が7個。
ジュウサンホシテントウ
背中に黒い斑点が17個。



ヒメケブカチョッキリ
体長約4mm。全身に毛があり、体色は光沢のある青色。



タゲリ
頭にピンとはなた羽がある。冬鳥。

観察ポイント

観察小道



タコノアシ
高さ50～90cm。秋頃に全体が赤くなる。



ヌカエビ
体色は褐色か緑褐色。
アメリカザリガニ
体長約10cm。元々は食用ガエルの餌として輸入された外来種。



トウキョウダルマガエル
「グゲゲ、グゲゲ」という泣き声。



ノウルシ
菜の花のような黄色い花を咲かせる。茎を切った所から出る白い液体はかぶれることがあるので注意。



トネハナヤスリ
花は咲かない。利根川沿いは主な産地。

◆◆ 観察するときの注意 ◆◆

- ☆貴重な生態系を守るために、生きものを傷つけたり持ち出したりしないようにお願いします。
- ☆ごみは持ち帰りましょう。
- ☆危険な生きものもいます。イノシシ、スズメバチなどに気をつけましょう。
- ☆池の中やまわりは滑りやすいので、ゆっくり気をつけて歩きましょう。